

保護者・学生のためのより詳しい説明

実際の入試問題を使って、この講座の効果をご説明します

8/10

メディカル英語 No.4

医学英語の比較研究を読む —— RCTとコホート研究の構造を見分ける

★ 清光学院の講師は、大学教員としてこれまでに皆さんのお子さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何十年も採点し合否判定を行ってきた当事者です。医学英語の長文でRCT・コホート研究の違いを意識せず読んだ答案と、研究デザインを見抜いてから情報を整理した答案の評価の差を、採点者として繰り返し目にしてきました。

1. この講座が有効な入試問題のタイプ

① 臨床研究・比較試験の英語長文読解

慶應義塾大学医学部・東京科学大学・昭和大学医学部の英語では、RCT（ランダム化比較試験）やコホート研究を題材にした英文が出題される。研究デザインの構造を知る受験生は、Introduction・Methods・Results・Discussionの役割を即座に見抜き、設問に正確に対応できる。

② 内容説明・比較問題

「この研究でコントロール群はどのように設定されたか」「なぜランダム化が必要なのか」という設問は、研究デザインを理解していなければ答えられない。

③ 医学部推薦の事前課題・口頭試問

医学部推薦入試では臨床研究論文が事前課題として出される。RCTとコホートの違いを知る受験生は、面接での応答力が他の受験生と明確に異なる。

2. 具体的な大学・学部との対応

大学・学部	出題の傾向	本講座との対応
慶應義塾大学 医学部	臨床研究論文の英語読解問題	研究デザインの構造知識が情報抽出の速度と精度を高める
東京科学大学	比較研究・RCTを扱う英語問題	研究構造の習熟が処理速度に直結する
昭和大学・東邦大学 医学部	医学英語の読解・内容説明問題	RCTとコホートの違いを知ること設問対応力が高まる
医学部推薦・総合型選抜（全般）	論文を前提とした口頭試問	研究デザインの知識が面接対応力を高める

3. なぜ差がつくのか・受講後に期待できる変化

医学英語の臨床研究論文を「英語の長文」として一語一語読む受験生は、研究デザインが変わるたびに迷う。授業の詳細な内容はここでは述べないが、受講後には（1）RCTとコホート研究の構造を見分けられる、（2）研究設問への対応が速くなる、（3）医学部推薦の事前課題と面接対応力が高まる、という変化が起きる。

何十年も医学部の英語答案を採点してきた清光学院の講師陣は、研究デザインを知っている受験生の答案の質の差を採点者として知っている。